

## 電算機器等の売却業務仕様書

この仕様書は、発注者が受注者に委託する電算機器等の売却業務について、必要な事項を定めるものである。

- 1 件名 電算機器等の売却業務
- 2 履行期間 契約締結日から令和8年3月31日まで
- 3 引渡場所 泉町浄水場（門真市泉町7番23号）
- 4 売却物品

売却対象物品は、門真市上下水道事業で使用していた電算機器等とし、電算機器等の機種及び台数については、別添「売却物品一覧表」のとおりである。

なお、電算機器等の状態は以下のとおりである。

ア すべての機器について、一切の動作保証できない。また、使用に伴う傷、汚れ、破損があるものも含まれる。

イ 機器のメモリやCPU等については、可能な限り現物の情報からカタログ又はホームページ等で確認しているため、実際の仕様と相違がある可能性がある。

## 5 業務概要

ア 作業工程表等の作成及び提出（任意様式）

- (1) 受注者は、作業工程表を事前に提出し、発注者の承認を得ること。
- (2) 受注者は、売却物品を令和8年3月31日までに引渡場所から搬出すること。
- (3) 搬出作業は、土日祝を除く平日午前9時30分から午後5時の間とすること。

イ データ消去作業

- (1) 受注者は、売却物品一覧表で「データ消去作業」欄に「○」と記載されている物品は、下記の(ア)または(イ)の方法にて、内蔵または付属する電磁的記録媒体（ハードディスク）のデータ消去を行うこと
  - (ア) 「DoD 標準（米国国防総務省規格）」または「NSA（米国国家安全保障局）」推奨方式。データ消去証明書を作成し、発注者に提出すること。
  - (イ) ハードウェアを物理破壊（ドリルによる穴あけ等）。データ消去証明書及びハードディスク破壊証明書を作成し、発注者に提出すること
- (2) データ消去証明書及びハードディスク破壊証明書についての様式は任意のものとするが、対象機器を特定できる情報（シリアル番号等）、消去方法（ソフトウェアによる消去であれば利用したソフトウェアの名称含め）、準拠方式（DoD

方式又は NSA 方式)、消去（作業）日及び作業責任者の情報について記載があること。

- (3) 物品を再利用する場合、パソコン等に発注者が貼付した端末識別番号や購入年等を記したシールを外すこと。

#### ウ 搬出作業

- (1) 受注者は、発注者が指定する場所から円滑に搬出作業を行うために人員や搬出場所及び搬出経路に損傷等の事故が生じないように必要な措置を行うこと
- (2) 搬出作業に係る資材等については、受注者の負担とすること
- (3) 搬出作業の過程において、搬出場所や経路の損傷等の事故が生じた場合は、受注者の責任をもって弁償すること

#### エ 機器の取扱い

受注者は、物品の売払いや処分等を行う場合、関係法令を遵守すること

#### オ 下見について

令和 8 年 1 月 14 日（水）午前 9 時 30 分から午後 5 時までで、発注者が指定する時間

### 7 引渡し日時

契約締結日から令和 8 年 3 月 31 日までの、午前 9 時 30 分から午後 5 時（ただし、土・日・祝日を除く）とし、契約締結後、受注者と協議のうえ、決定するものとする。

### 8 引渡し条件

発注者が指定する口座へ売却代金の振込を完了していること。

振込期限は契約締結日から 1 ヶ月以内とする。

### 9 提出物

次の成果物を作成し、発注者へ提出すること

- (1) データ消去証明書
- (2) ハードディスク破壊証明書（該当する場合）
- (3) 許可証等の写し（売却物品を古物営業法による古物営業とする場合は、同法による許可証の写しの提出など）

### 10 保守義務

本業務を履行するにあたり知りえた情報を第三者に漏らしてはならない。業務終了後の取扱いも同様とする。

#### 11 その他

- (1) 搬出作業や経路は、開庁時間のため来庁者に配慮して実施すること。
- (2) 受注者は搬出作業により発生したゴミ等はすべて持ち帰ること。
- (3) 引き取りに係る経費は受注者負担とすること。
- (4) 本仕様書に定めた事項に関して疑義が生じたとき、または定めのない事項については、発注者と受注者とで協議して定める。